



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和 7 年度

土地改良施設突発事故復旧事業
諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

工事別工事名: 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事

九州農政局

[illegible]

事業名 土地改良施設突発事故復旧事業						
工事名 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
工事別工事名: 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
名 称 (規 格)		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費					7,333,000	
・ 輸送費		1.000	式		95,000	
・ ・ 輸送費		1.000	式		95,000	
・ ・ ・ 輸送費 (河川用水門)		1.000	式	95,000	95,000	1 式当たり
S41040	輸送費 (修繕工事) 据付製品の現場までの輸送 (据付河川・水路用水門設備,7.15ton,51.7km)	1.000	式	82,000	82,000	歩A・単A S単 23号
S41040	輸送費 (修繕工事) 処分場までの輸送 (撤去ワイヤロープ) 河川・水路用水門設備,7.15ton,0.45km	1.000	式	13,000	13,000	歩A・単A S単 24号
合 計					95,000	
・ 水門扉据付工		1.000	式		7,238,000	
・ ・ 水門扉据付工		1.000	式		7,238,000	
・ ・ ・ ワイヤロープ取替工		1.000	式	2,265,000	2,265,000	1 式当たり
S41030	ワイヤロープ取替工 (水門設備修繕) 564m	1.000	門	1,919,263	1,919,263	歩A・単A S単 22号
X41006	据付間接費 水門設備 (小形水門を除く) 【修繕】 , ,140%	1.000	式	2,686,968	2,686,968	歩A・単A X単 4号
X41003	据付材料費 水門設備 , , , , ,0kW, 中・大形水門・起伏堰	1.000	式	268,697	268,697	歩A・単A X単 2号
X41002	補助材料費 (据付) 水門設備 (小形水門設備を除く) , ,4%	1.000	式	76,771	76,771	歩A・単A X単 1号
合 計					4,951,699	
計 (1) (直接費対象分)					2,264,731	
計 (2) (間接費対象分)					2,686,968	
・ ・ ・ 開閉ドラム切離し復旧工		1.000	式	166,000	166,000	1 式当たり
T00001	開閉ドラム切離し復旧工	1.000	門	166,056	166,056	歩A・単A T単 1号
X41006	据付間接費 水門設備 (小形水門を除く) 【修繕】 , ,140%	1.000	式	173,074	173,074	歩A・単A X単 5号
合 計					339,130	
計 (1) (直接費対象分)					166,056	
計 (2) (間接費対象分)					173,074	
・ ・ ・ 直接経費		1.000	式	7,000	7,000	1 式当たり
S16002	電気溶接機 [ディーズエンジン駆動・直流アーク式・排対2次] ,最大溶接電流200A,交替制補正対象外,運転 1 日当たり算出	2.000	日	3,618	7,236	歩A・単A S単 15号
X41005	雑器具損料	1.000	式	145	145	歩A・単A X単 3号
合 計					7,381	
・ ・ ・ 仮設工		1.000	式	4,138,000	4,138,000	1 式当たり
S18031	足場工 なし,単管,なし	83.000	掛㎡	4,246	352,418	歩A・単A S単 18号
T00005	予備ゲート設置工 扉体12ブロック	1.000	門	507,050	507,050	歩A・単A T単 5号
T00003	予備ゲート設置工 (水中作業)	1.000	門	221,268	221,268	歩A・単A T単 3号
T00006	予備ゲート撤去工 扉体12ブロック	1.000	門	507,050	507,050	歩A・単A T単 6号
T00004	予備ゲート撤去工 (水中作業)	1.000	門	221,268	221,268	歩A・単A T単 4号
T00007	予備ゲート格納庫搬出工 格納庫搬出 ~ 運搬車両積込み	1.000	門	299,048	299,048	歩A・単A T単 7号
T00008	予備ゲート運搬 (格納庫 排水門)	1.000	式	157,196	157,196	歩A・単A T単 8号
T00012	予備ゲート格納庫搬入工 運搬車両積下し ~ 清掃・補修 ~ 格納庫搬入	1.000	門	1,715,018	1,715,018	歩A・単A T単 10号
T00009	予備ゲート運搬 (排水門 格納庫)	1.000	式	157,196	157,196	歩A・単A T単 9号
合 計					4,137,512	
・ ・ ・ 通行規制		1.000	式	487,000	487,000	1 式当たり
S20001	交通誘導警備員 A 1交替制作業,8.0時間,1.0時間,0.0時間	13.000	人	19,323	251,199	歩A・単A S単 19号
S20001	交通誘導警備員 B 1交替制作業,8.0時間,1.0時間,0.0時間	13.000	人	18,170	236,210	歩A・単A S単 20号
合 計					487,409	
・ ・ ・ 試運転調整工 (水中部確認)		1.000	式	175,000	175,000	1 式当たり

[illegible]

事業名 土地改良施設突発事故復旧事業						
工事名 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
工事別工事名: 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S02111	*** S単 - 1号 ***					
	潜水士船損料 (運転)					
	潜水士船損料 (運転) FRP 70PS型		日	19,260		歩A・単A
S02111	*** S単 - 2号 ***					
	潜水士船損料 (供用)					
	潜水士船損料 (供用) FRP 70PS型		日	3,360		歩A・単A
S02115	*** S単 - 3号 ***					
	据付工					
	据付工		人	30,906		歩A・単A
S02115	*** S単 - 4号 ***					
	普通作業員					
	普通作業員		人	21,216		歩A・単A
S02115	*** S単 - 5号 ***					
	土木一般世話役					
	土木一般世話役		人	28,866		歩A・単A
S02115	*** S単 - 6号 ***					
	とび工					
	とび工		人	27,030		歩A・単A
S02115	*** S単 - 7号 ***					
	運転手 (特殊)					
	運転手 (特殊)		人	24,786		歩A・単A
S02115	*** S単 - 8号 ***					
	潜水世話役					
	潜水世話役		人	41,922		歩A・単A
S02115	*** S単 - 9号 ***					
	潜水士					
	潜水士		人	45,798		歩A・単A
S02115	*** S単 - 10号 ***					
	潜水連絡員					
	潜水連絡員		人	28,764		歩A・単A
S02115	*** S単 - 11号 ***					
	潜水送気員					
	潜水送気員		人	29,682		歩A・単A
S02115	*** S単 - 12号 ***					
	橋りょう塗装工					
	橋りょう塗装工		人	34,782		歩A・単A
S02116	*** S単 - 13号 ***					
	軽油					
	軽油 ハトール給油		L	150		歩A・単A
S16001	*** S単 - 14号 ***					
	トルマ[ヒ]					
	トルマ[ヒ] ,25t積,運転1日当たり算出		日	78,598		歩A・単A
S16002	*** S単 - 15号 ***					
	電気溶接機[ディーズエンジン駆動・直流アーク式・排対2次]					
	電気溶接機[ディーズエンジン駆動・直流アーク式・排対2次] ,最大溶接電流200A,交替制補正対象外,運転1日当たり算出		日	3,618		歩A・単A
S16004	*** S単 - 16号 ***					
	ラフレンクレン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)]					
	ラフレンクレン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)] ラフレンクレン(油圧伸縮ジブ型),50ton吊り,なし		日	112,000		歩A・単A
S16004	*** S単 - 17号 ***					
	ラフレンクレン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)]					
	ラフレンクレン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)] ラフレンクレン(油圧伸縮ジブ型),25ton吊り,なし		日	62,000		歩A・単A
S18031	*** S単 - 18号 ***					
	足場工					
	足場工 なし,単管,なし		掛㎡	4,246		歩A・単A
S20001	*** S単 - 19号 ***					
	交通誘導警備員A					
	交通誘導警備員A 1交替制作業,8.0時間,1.0時間,0.0時間		人	19,323		歩A・単A
S20001	*** S単 - 20号 ***					
	交通誘導警備員B					
	交通誘導警備員B 1交替制作業,8.0時間,1.0時間,0.0時間		人	18,170		歩A・単A
S40006	*** S単 - 21号 ***					
	ワイヤロープ					
	ワイヤロープ SWRH(A種亜鉛メッキ 53)141m/組(ソケットン及びナット含む)		組	12,600,000		歩A・単A
S41030	*** S単 - 22号 ***					
	ワイヤロープ取替工 (水門設備修繕)					

[illegible]

事業名 土地改良施設突発事故復旧事業						
工事名 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
工事別工事名:諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S02111	潜水土船損料 (運転)		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	潜水土船損料 (運転) FRP 70PS型			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード:M96001 2)機械器具規格:FRP 70PS型 3)単価の入力:19,260円			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:月単位	
M96001	潜水土船損料 (運転) FRP 70PS型	1.000	日	19,260	19,260	
	合 計				19,260	算出数量 1.000 各単位
	単 価				19,260	
	*** S単 - 2号 ***					
S02111	潜水土船損料 (供用)		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	潜水土船損料 (供用) FRP 70PS型			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード:M96002 2)機械器具規格:FRP 70PS型 3)単価の入力:3,360円			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:月単位	
M96002	潜水土船損料 (供用) FRP 70PS型	1.000	日	3,360	3,360	
	合 計				3,360	算出数量 1.000 各単位
	単 価				3,360	
	*** S単 - 3号 ***					
S02115	据付工		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	据付工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード:R03002 2)労務単価算定区分:基(B)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:月単位	
R03002	据付工	1.000	人	30,906	30,906	
	合 計				30,906	算出数量 1.000 人
	単 価				30,906	
	*** S単 - 4号 ***					
S02115	普通作業員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	普通作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード:R01003 2)労務単価算定区分:基(B)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:月単位	
R01003	普通作業員	1.000	人	21,216	21,216	
	合 計				21,216	算出数量 1.000 人
	単 価				21,216	
	*** S単 - 5号 ***					
S02115	土木一般世話役		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	土木一般世話役			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード:R01001 2)労務単価算定区分:基(B)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:月単位	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	28,866	28,866	
	合 計				28,866	算出数量 1.000 人
	単 価				28,866	
	*** S単 - 6号 ***					
S02115	とび工		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	とび工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	土地改良施設突発事故復旧事業					
工事名	諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事					
工事別工事名:諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)労務ｺｰﾄﾞ : R01012 2)労務単価算定区分:基(B)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:月単位	
R01012	とび工	1.000	人	27,030	27,030	
	合 計				27,030	算出数量 1.000 人
	単 価				27,030	
	*** S単 - 7号 ***					
S02115	運転手(特殊)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	運転手(特殊)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務ｺｰﾄﾞ : R01021 2)労務単価算定区分:基(B)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:月単位	
R01021	運転手(特殊)	1.000	人	24,786	24,786	
	合 計				24,786	算出数量 1.000 人
	単 価				24,786	
	*** S単 - 8号 ***					
S02115	潜水世話役		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	潜水世話役			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務ｺｰﾄﾞ : R01081 2)労務単価算定区分:基(B)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:月単位	
R01081	潜水世話役	1.000	人	41,922	41,922	
	合 計				41,922	算出数量 1.000 人
	単 価				41,922	
	*** S単 - 9号 ***					
S02115	潜水土		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	潜水土			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務ｺｰﾄﾞ : R01082 2)労務単価算定区分:基(B)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:月単位	
R01082	潜水土	1.000	人	45,798	45,798	
	合 計				45,798	算出数量 1.000 人
	単 価				45,798	
	*** S単 - 10号 ***					
S02115	潜水連絡員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	潜水連絡員			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務ｺｰﾄﾞ : R01083 2)労務単価算定区分:基(B)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:月単位	
R01083	潜水連絡員	1.000	人	28,764	28,764	
	合 計				28,764	算出数量 1.000 人
	単 価				28,764	
	*** S単 - 11号 ***					
S02115	潜水送気員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	潜水送気員			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務ｺｰﾄﾞ : R01084 2)労務単価算定区分:基(B)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:月単位	
R01084	潜水送気員	1.000	人	29,682	29,682	

事業名 土地改良施設突発事故復旧事業						
工事名 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
工事別工事名:諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	合 計				29,682	算出数量 1.000 人
	単 価				29,682	
	*** S 単 - 12号 ***					
S02115	橋りょう塗装工		人		1.000 人	歩 A 当たり算出
	橋りょう塗装工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード: R01053 2)労務単価算定区分:基(B)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
R01053	橋りょう塗装工	1.000	人	34,782	34,782	
	合 計				34,782	算出数量 1.000 人
	単 価				34,782	
	*** S 単 - 13号 ***					
S02116	軽油		L		1.000 各単位	歩 A 当たり算出
	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分:地域資材(Pコード) 2)地域資材単価コード(P): P34029 3)地区資材単価コード(J): 4)施設機械資材単価コード(K):			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
P34029	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	1.000	L	150	150	
	合 計				150	算出数量 1.000 各単位
	単 価				150	
	*** S 単 - 14号 ***					
S16001	ﾄﾚｰ[ﾃﾐ]		日		1.000 各単位	歩 A 当たり算出
	ﾄﾚｰ[ﾃﾐ] .25t積,運転 1 日当たり算出			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械コード 単位が時間のみ : M03123 2)機械コード(同上): M03123 3)機械損料算出区分:運転 1 日当たり算出 4)運転 1 日当たり運転時間(T): 6.3時間 5)運転日に対する供用日の割合(YC): 1.90 6)単価計上区分:機械損料等+燃料+運転労務 7)岩石補正区分:岩石補正なし 8)燃料の計上方法:機械経費算定基準値による 9)燃料区分:軽油 10)燃料消費量(入力の場合): 0.0 11)消耗部品の計上の有無:消耗部品を計上しない 13)消耗部品費の適用条件(2):消耗部品なし 14)名称(消耗部品): - 15)規格(消耗部品): -			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
M03123	ﾄﾚｰ[ﾃﾐ] .25t積	1.000	日	38,800	38,800	
P34029	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	113.000	L	150	16,950	
R01022	運転手(一般)	1.000	人	22,848	22,848	
	合 計				78,598	算出数量 1.000 各単位
	単 価		各単位		78,598	
Y00001	単位					
	*** S 単 - 15号 ***					
S16002	電気溶接機[ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動・直流ｱｰｸ式・排対2次]		日		1.000 各単位	歩 A 当たり算出
	電気溶接機[ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動・直流ｱｰｸ式・排対2次] 最大溶接電流200A,交替制補正対象外,運転 1 日当たり算出			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械コード 単位が日のみ : M27432 2)機械損料算出区分:運転 1 日当たり算出 3)運転 1 日当たり運転時間(T): 5.0 4)運転日に対する供用日の割合(YC): 1.80 5)単価計上区分:機械損料+燃料 6)燃料区分:軽油 7)燃料の計上方法:機械経費算定基準値による 8)燃料消費量(入力の場合): 0.0 9)交替制作業補正区分:交替制補正対象外			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
M27432	電気溶接機[ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動・直流ｱｰｸ式・排対2次] 最大溶接電流200A	1.800	供用日	1,010	1,818	
P34029	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	12.000	L	150	1,800	
	合 計				3,618	算出数量 1.000 各単位
	単 価		各単位		3,618	
Y00001	単位					
	*** S 単 - 16号 ***					
S16004	ﾌﾗﾚﾝｽｸﾚﾝ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型・～低騒・排対型(～2014)]		日		1.000 日	歩 A 当たり算出
	ﾌﾗﾚﾝｽｸﾚﾝ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型・～低騒・排対型(～2014)] ﾌﾗﾚﾝｽｸﾚﾝ(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型),50ton吊り,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名 土地改良施設突発事故復旧事業						
工事名 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
工事別工事名: 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	1)機械区分: フレックレン(油圧伸縮ジブ型) 2)規格: 50ton吊り 3)運転1日当たり運転時間(T): 0.0 4)運転日に対する供用日の割合(YC): 0.00 5)長期割引単価区分(賃料機械): なし			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 月単位	
F01088	フレックレン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)] 吊上能力50t吊	1.000	日	112,000	112,000	
	合 計				112,000	算出数量 1.000 日
	単 価		日		112,000	
	*** S単 - 17号 ***					
S16004	フレックレン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)] フレックレン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)] フレックレン(油圧伸縮ジブ型), 25ton吊り, なし		日		1.000 日	歩A 当たり算出
	1)機械区分: フレックレン(油圧伸縮ジブ型) 2)規格: 25ton吊り 3)運転1日当たり運転時間(T): 0.0 4)運転日に対する供用日の割合(YC): 0.00 5)長期割引単価区分(賃料機械): なし			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 月単位	
F01086	フレックレン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)] 吊上能力25t吊	1.000	日	62,000	62,000	
	合 計				62,000	算出数量 1.000 日
	単 価		日		62,000	
	*** S単 - 18号 ***					
S18031	足場工 足場工 なし, 単管, なし		掛㎡		100.000 掛㎡	歩A 当たり算出
	1)足場区分: 単管 2)安全ネット区分: なし 3)長期割引単価区分(賃料機械): なし			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 月単位	
R01001	土木一般世話役	1.900	人	28,866	54,845	
R01012	とび工	6.900	人	27,030	186,507	
R01003	普通作業員	1.800	人	21,216	38,189	
F01086	フレックレン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)] 吊上能力25t吊	0.800	日	62,000	49,600	
Y00004	諸雑費	0.290		329,141	95,451	
	合 計				424,592	算出数量 100.000 掛㎡
	単 価		掛㎡		4,246	
	*** S単 - 19号 ***					
S20001	交通誘導警備員A 交通誘導警備員A 1交替制作業, 8.0時間, 1.0時間, 0.0時間		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	1)労務コード: R01031 2)作業区分: 1交替制作業 3)基本給対象時間以内の作業時間: 8.0時間 4)超勤割増対象作業時間: 1.0時間 5)深夜割増対象作業時間: 0.0時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 月単位	
R01031	交通誘導警備員A	1.000	人	19,323	19,323	
	合 計				19,323	算出数量 1.000 人
	単 価		人		19,323	
	*** S単 - 20号 ***					
S20001	交通誘導警備員B 交通誘導警備員B 1交替制作業, 8.0時間, 1.0時間, 0.0時間		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	1)労務コード: R01032 2)作業区分: 1交替制作業 3)基本給対象時間以内の作業時間: 8.0時間 4)超勤割増対象作業時間: 1.0時間 5)深夜割増対象作業時間: 0.0時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 月単位	
R01032	交通誘導警備員B	1.000	人	18,170	18,170	
	合 計				18,170	算出数量 1.000 人
	単 価		人		18,170	
	*** S単 - 21号 ***					
S40006	ワイヤロープ		組		1.000 各単位	歩A 当たり算出

[illegible]

事業名 土地改良施設突発事故復旧事業						
工事名 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
工事別工事名:諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** X単 - 1号 ***					
X41002	補助材料費(据付)		式		1,000	歩A 当たり算出
	補助材料費(据付)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	水門設備(小形水門設備を除く) , ,4%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)工種区分:水門設備(小形水門設備を除く) 2)据付補助材料費率(Y):4.000%			深夜時間:0.0	週休:月単位	
	3)工種区分の名称: 4)据付材料費対象金額小計(円):1,919,263.000円					
K79391	据付補助材料費	0.040	式	1,919,263	76,771	
	合 計				76,771	算出数量 1.000 式
	単 価		式		76,771	
	*** X単 - 2号 ***					
X41003	据付材料費		式		1,000	歩A 当たり算出
	据付材料費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	水門設備 , , , , ,0kW,中・大形水門・起伏堰			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)工種区分:水門設備 6)原動機出力:0.000kW 7)形式区分:中・大形水門・起伏堰			深夜時間:0.0	週休:月単位	
	8)据付材料費率(X):14.000% 9)工種区分の名称:					
	10)据付材料費対象金額小計(円):1,919,263.000円					
K79371	据付材料費	0.140	式	1,919,263	268,697	
	合 計				268,697	算出数量 1.000 式
	単 価		式		268,697	
	*** X単 - 3号 ***					
X41005	雑器具損料		式		1,000	歩A 当たり算出
	雑器具損料			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)雑器具損料対象金額小計(円):7,236.000			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
K79411	雑器具損料	0.020	式	7,236	145	
	合 計				145	算出数量 1.000 式
	単 価		式		145	
	*** X単 - 4号 ***					
X41006	据付間接費		式		1,000	歩A 当たり算出
	据付間接費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	水門設備(小形水門を除く)【修繕】 , ,140%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)工種区分:水門設備(小形水門を除く)【修繕】 2)据付間接費率(Y):140.000%			深夜時間:0.0	週休:月単位	
	3)工種区分の名称: 4)据付工対象金額(円):1,919,263.000					
K79251	据付間接費	1.400	式	1,919,263	2,686,968	
	合 計				2,686,968	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,686,968	
	*** X単 - 5号 ***					
X41006	据付間接費		式		1,000	歩A 当たり算出
	据付間接費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	水門設備(小形水門を除く)【修繕】 , ,140%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)工種区分:水門設備(小形水門を除く)【修繕】 2)据付間接費率(Y):140.000%			深夜時間:0.0	週休:月単位	
	3)工種区分の名称: 4)据付工対象金額(円):123,624.000					
K79251	据付間接費	1.400	式	123,624	173,074	
	合 計				173,074	算出数量 1.000 式
	単 価		式		173,074	

[illegible]

事業名 土地改良施設突発事故復旧事業						
工事名 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
工事別工事名: 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** T単 - 1号 ***					
T00001	開閉ドラム切離し復旧工		門		1,000	歩A 当たり算出
S02115	据付工	4,000	人	30,906	123,624	S単 3号
S02115	普通作業員	2,000	人	21,216	42,432	S単 4号
	合 計				166,056	算出数量 1,000 門
	単 価		門		166,056	
	*** T単 - 2号 ***					
T00002	試運転調整工 (水中確認)		門		1,000	歩A 当たり算出
S02116	軽油 ハト-II給油,,	30,000	L	150	4,500	S単 13号
S02115	潜水世話役	1,000	人	41,922	41,922	S単 8号
S02115	潜水土	1,000	人	45,798	45,798	S単 9号
S02115	潜水連絡員	1,000	人	28,764	28,764	S単 10号
S02115	潜水送気員	1,000	人	29,682	29,682	S単 11号
S02111	潜水土船損料 (運転) FRP 70PS型	1,000	日	19,260	19,260	S単 1号
S02111	潜水土船損料 (供用) FRP 70PS型	1,650	日	3,360	5,544	S単 2号
	合 計				175,470	算出数量 1,000 門
	単 価		門		175,470	
	*** T単 - 3号 ***					
T00003	予備ゲート設置工 (水中作業)		門		1,000	歩A 当たり算出
S02116	軽油 ハト-II給油,,	30,000	L	150	4,500	S単 13号
S02115	潜水世話役	1,000	人	41,922	41,922	S単 8号
S02115	潜水土	2,000	人	45,798	91,596	S単 9号
S02115	潜水連絡員	1,000	人	28,764	28,764	S単 10号
S02115	潜水送気員	1,000	人	29,682	29,682	S単 11号
S02111	潜水土船損料 (運転) FRP 70PS型	1,000	日	19,260	19,260	S単 1号
S02111	潜水土船損料 (供用) FRP 70PS型	1,650	日	3,360	5,544	S単 2号
	合 計				221,268	算出数量 1,000 門
	単 価		門		221,268	
	*** T単 - 4号 ***					
T00004	予備ゲート撤去工 (水中作業)		門		1,000	歩A 当たり算出
S02116	軽油 ハト-II給油,,	30,000	L	150	4,500	S単 13号
S02115	潜水世話役	1,000	人	41,922	41,922	S単 8号
S02115	潜水土	2,000	人	45,798	91,596	S単 9号
S02115	潜水連絡員	1,000	人	28,764	28,764	S単 10号
S02115	潜水送気員	1,000	人	29,682	29,682	S単 11号
S02111	潜水土船損料 (運転) FRP 70PS型	1,000	日	19,260	19,260	S単 1号
S02111	潜水土船損料 (供用) FRP 70PS型	1,650	日	3,360	5,544	S単 2号
	合 計				221,268	算出数量 1,000 門
	単 価		門		221,268	

事業名 土地改良施設突発事故復旧事業						
工事名 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
工事別工事名: 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** T単 - 5号 ***					
T00005	予備ゲート設置工		門		1.000	歩A 当たり算出
	庫体12ブロック					
S02115	土木一般世話役	1.000	人	28,866	28,866	S単 5号
S02115	とび工	6.000	人	27,030	162,180	S単 6号
S02115	普通作業員	2.000	人	21,216	42,432	S単 4号
S16004	ワフレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)]	2.000	日	112,000	224,000	S単 16号
S02115	ワフレンクレーン(油圧伸縮ジブ型),50ton吊り,なし	2.000	人	24,786	49,572	S単 7号
	運転手(特殊)					算出数量 1.000 門
	合 計				507,050	
	単 価		門		507,050	
	*** T単 - 6号 ***					
T00006	予備ゲート撤去工		門		1.000	歩A 当たり算出
	庫体12ブロック					
S02115	土木一般世話役	1.000	人	28,866	28,866	S単 5号
S02115	とび工	6.000	人	27,030	162,180	S単 6号
S02115	普通作業員	2.000	人	21,216	42,432	S単 4号
S16004	ワフレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)]	2.000	日	112,000	224,000	S単 16号
S02115	ワフレンクレーン(油圧伸縮ジブ型),50ton吊り,なし	2.000	人	24,786	49,572	S単 7号
	運転手(特殊)					算出数量 1.000 門
	合 計				507,050	
	単 価		門		507,050	
	*** T単 - 7号 ***					
T00007	予備ゲート格納庫搬出工		門		1.000	歩A 当たり算出
	格納庫搬出～運搬車両積込み					
S02115	土木一般世話役	1.000	人	28,866	28,866	S単 5号
S02115	とび工	6.000	人	27,030	162,180	S単 6号
S02115	普通作業員	1.000	人	21,216	21,216	S単 4号
S16004	ワフレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)]	1.000	日	62,000	62,000	S単 17号
S02115	ワフレンクレーン(油圧伸縮ジブ型),25ton吊り,なし	1.000	人	24,786	24,786	S単 7号
	運転手(特殊)					算出数量 1.000 門
	合 計				299,048	
	単 価		門		299,048	
	*** T単 - 8号 ***					
T00008	予備ゲート運搬(格納庫 排水門)		式		1.000	歩A 当たり算出
S16001	ﾄｰﾗ[ﾄﾐ] ,25t積,運転1日当たり算出	2.000	日	78,598	157,196	S単 14号
	合 計				157,196	算出数量 1.000 式
	単 価		式		157,196	
	*** T単 - 9号 ***					
T00009	予備ゲート運搬(排水門 格納庫)		式		1.000	歩A 当たり算出
S16001	ﾄｰﾗ[ﾄﾐ] ,25t積,運転1日当たり算出	2.000	日	78,598	157,196	S単 14号
	合 計				157,196	算出数量 1.000 式
	単 価		式		157,196	
	*** T単 - 10号 ***					

[illegible]

令和7年度土地改良施設突発事故復旧事業
諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事

特 別 仕 様 書

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

令和7年度土地改良施設突発事故復旧事業 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事等共通仕様書」（以下、「共通仕様書（施）」という。）、及び「土木工事共通仕様書」（以下、「共通仕様書（土）」という。）に基づいて実施する。

なお、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目 的

本工事は、土地改良施設突発事故復旧事業計画に基づき、諫早湾干拓北部排水門ゲート設備のワイヤロープの取替を行うものである。

2. 工事場所

長崎県諫早市高来町金崎地内

3. 工事概要

本工事は、諫早湾干拓北部排水門ゲート設備のワイヤロープ取替を行うもので、その概要は次のとおりである。

ワイヤロープ取替（3号排水門ゲート） 1門

4. 工事数量

別紙「工事数量表」のとおりである。

5. 施工範囲

本工事の施工範囲は、第2章3. 工事概要に示す設備の準備、取外し、現場搬出、積込み、荷卸し、現場搬入、取付け、調整、試運転までの一切とする。

第3章 施工条件

1. 工事用道路及び施工ヤード

工事用道路及び施工ヤードについては、潮受け堤防道路を使用するものとする。

潮受け堤防道路の交通規制については、関係所轄警察署に届出するものとする。

堤防道路利用者に対する通行止めの周知期間としては、概ね30日間を想定しており、詳細については監督職員と協議するものとする。

2. 工事期間中の休業日

（1）工場製作の工事期間には、休日等4週8休を見込んでいる。

（2）現場据付の工事期間には雨天、休日等3日を見込んでいる。

（なお、休日等は土曜日、日曜日、祝日、年末年始休暇である。）

3. 施工しない日

原則、土曜日及び日曜日とする。ただし、週休2日の取得に要する費用の計上の試行工事のうち週休2日の実施を取り組む工事については、提出する実施計画書によるものとする。

なお、冬期間の気象条件等により上記の施工しない日においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

4. 施工しない時間帯

原則、平日の午後7時から午前7時までとする。

なお、冬期間の気象条件等により上記の施工しない時間帯においてやむを得ず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

5. 全面通行止めを行う時間帯

堤防道路の全面通行止めを行う時間帯は午前9時から午後5時まで。

なお、詳細については監督職員と協議するものとする。

第4章 現場条件

1. 関連工事等

受注者は、次に示す関連工事の受注者と相互に協力し、施工しなければならない。

令和7年度 諫早湾地区北部6号排水門維持工事(令和7年8月20日～令和8年3月9日)

2. 工事用道路

現場への搬入路は、下記に示す車両の進入が可能である。

- ・50tラフテレーンクレーン

3. 第三者に対する措置

(1) 保安対策

1) 本工事に配置する交通誘導警備員は、原則として警備業法に定める警備員（指導教育責任講習修了、指定講習または、基本教育及び業務別教育を受けた者）であって、交通誘導警備員の専門的な知識・技能を有する者とする。

2) 交通誘導警備員の配置は、下表のとおり計画しているが、別途必要な場合は監督職員と協議するものとする。

①足場設置、撤去期間（片側交互通行）

配置場所	交通誘導警備員	編 成	昼 夜 別	交代要員の有無
・北部排水門	2名／日	2名	昼 間	無し

②ワイヤロープ取替期間（撤去、清掃、取付）（片側交互通行）

配置場所	交通誘導警備員	編 成	昼 夜 別	交代要員の有無
・北部排水門	2名／日	2名	昼 間	無し

③調整、試運転期間（片側交互通行）

配置場所	交通誘導警備員	編 成	昼 夜 別	交代要員の有無
・北部排水門	2名／日	2名	昼 間	無し

④予備ゲート設置、撤去期間（全面通行止め）

配置場所	交通誘導警備員	編 成	昼 夜 別	交代要員の有無
・潮受堤防道路進入路 （北部・南部）	4名／日	4名	昼 間	無し

(2) その他

既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任で処理するものとする。

4. 関係機関との調整

受注者は、取替工事及び試運転について関係機関と必要な調整を行わなければならない。

- (1) 搬入ルート等の道路使用許可申請
- (2) 取替作業期間の通行止めに関する調整
- (3) その他必要な協議事項又は届出等

第5章 提出図書等

官公庁への手続き等

共通仕様書（施）第1章 1-1-45 に示す書類は必要に応じて監督職員と協議する。

第6章 仮設

1. 工事用電力

据付工事に使用する電力設備及び電力料金は受注者の負担とする。

2. 指定仮設

(1) 仮置場

本工事により撤去した資材等の仮置場は、下記の個所を予定しており、詳細については監督職員と協議するものとする。

名称	地先名	摘要
潮受堤防敷地 (堤防管理所付近)	諫早市高来町金崎地内	撤去したワイヤロープ等

(2) 仮締切工

本工事の仮締切については、堤防管理所敷地内格納庫にある予備ゲートを使用するものとする。

名称	規格・寸法	摘要
予備ゲート (鋼製角落しゲート)	幅7.98m×高さ2.45m×厚さ0.6m	排水門1門分/12枚 (3枚×4径間)

3. 通行止め告知看板

潮受堤防道路の通行止めに当たっては、通行止め告知看板を設置しなければならない。

なお、設置個所については、通行止め協議結果によるものとし、通行止めを要する作業終了後、ただちに撤去するものとする。

第7章 工事用地等

1. 発注者が確保している用地

発注者が確保している工事用地及び工事施工上必要な用地は、潮受堤防敷地内であり、監督職員が別途指示する。

2. 工事用地等の使用及び返還

工事用地の返還に当たっては、舗装面等が破損した場合、必要な措置を講じた後、監督職員の確認を受けなければならない。

第8章 貸与する資料等

本工事の施工において、必要な資料については監督職員と協議する。

- (1) 資 料 監督職員と協議した資料
- (2) 貸与期間 工事契約から工事完成まで
- (3) 返納場所 九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 保全整備課

- (4) 貸与条件 貸与資料の内容については、発注者の許可なく他に公表してはならない。

第9章 試運転調整

本工事で実施する電気設備を含めた試運転調整に要する電力料金（基本料金・使用料金）は受注者の負担とする。

なお、試運転調整の実施に当たっては、事前に詳細な実施計画書を作成し、監督職員に提出して承諾を得るものとする。

第10章 材 料

主要材料

- (1) 主要材料は、JIS 規格品、又は同等品以上とする。
(2) 使用材料は、試験成績書、見本又はカタログ等を提出し、監督職員の承諾を受けるものとする。

材 料 名	規 格	適 用
ワイヤロープ(A 種メッキ)	IWRC6×WS(36) φ53 プレテンション加工	JIS G 3525
ワイヤソケット	〇形標準型(めっき) φ53	

第11章 構造及び製作

一般事項

- (1) 本設備の製作に必要な機器及び材料は、共通仕様書（施）第2章「機器及び材料」及び第4章「水門設備」によるものとする。
(2) 本設備の構造及び製作は、共通仕様書（施）第3章「共通施工」及び第4章「水門設備」によるものとする。
(3) 本設備は、共通仕様書（施）第4章「水門設備」によるものとするが、受注者の新技術及び新製品等があれば提案を行うことが可能である。
(4) 水門設備の主要部は運転開始から長期の運転に耐えうる設計を行うこと。

第12章 運転操作・制御方式

運転管理

- (1) 北部排水門
機側操作及び遠隔操作である。

第13章 据 付

受注者は設計変更が生じ、契約変更に必要な測量・設計図書の作成を監督職員から指示された場合は、それに応ずるものとする。

なお、その経費については別途協議するものとする。

1. 一般事項

据付は、共通仕様書（施）第3章第7節から第13節によるものとし、特記及び追加事項は次によるものとする。

2. 据付材料

本工事で据付時に使用する主要材料は、共通仕様書（施）第2章によるものとする。

3. 特定建設資材等の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は次のとおりである。

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

第 1 4 章 試験及び検査

検測又は確認（施工段階確認）

（1）本工事の施工段階確認は、下表に示すとおりである。

ただし、確認時期・頻度については、監督職員の指示により変更する場合がある。

施設機械等工事

工種	確認内容		確認時期	遠隔確認	備考
1. 開閉装置 (ワイヤロープ式)	品質 確認	外観確認 (1)変形と有害なきずの有 無 (2)ワイヤ止めボルトの締 め状況 (3)ワイヤの捨巻数 (4)ワイヤZ、S捻りの区 別	材料搬入時	—	

（2）（1）の表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求めた場合、これに応じなければならない。

（3）工場で行う施工段階確認は、日本国内の工場で行うものとする。

（4）遠隔確認により実施を行う場合は協議するものとする。

（5）低入札価格調査制度における調査対象工事の場合における重点的に確認すべき事項については、工事契約後において受発注者間で協議するものとする。

第 1 5 章 施工管理等

1. 主任技術者等の資格

主任技術者又は監理技術者は次に示す資格を有する者でなければならない。

1) 主任技術者

建設業法第7条第2号イ、ロ又はハに該当する者であること。

2) 監理技術者

- ① 建設業法第 15 条第 2 号イ、ロ又はハに該当する者であること。
- ② 監理技術者資格者証を有する者であること。
ただし、監理技術者資格証を平成 16 年 3 月 1 日以降に交付されている場合は、講習修了証についても有する者であること。

2. 施工管理

施工管理は、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事等施工管理基準」及び共通仕様書（施）による。

なお、これらに定められていない事項については、受注者の基準によるが、この場合はあらかじめ監督職員の承諾を得るものとする。

3. 工事写真における黒板情報の電子化

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得た上で黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下「機器等」という。）は、「土木工事施工管理基準 別表第 2 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL 「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

- １）黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- ２）受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- １）受注者は、（１）の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- ２）本工事の工事写真の取扱いは、「土木工事施工管理基準 別表第 2 撮影記録による出来形管理」及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記 1）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- ３）黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（４）写真の納品

受注者は、（３）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL (https://dcpadv.jcomsia.org/photofinder/pac_auth.php) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（５）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

4. 工事現場等における遠隔確認について

- （１）本工事は、施工段階確認、材料検査、立会等による確認を受注者が動画撮影用カメラに

- より撮影した映像と音声を監督職員等に同時配信し、双方向通信により会話をしながら監督職員等がモニター上で工事現場等の確認（以下「遠隔確認」という）を行う工事である。
- (2) 遠隔確認の活用は、別添の「工事現場等における遠隔確認に関する実施要領」によるものとする。
- (3) 農林水産省が推奨する Web 会議システムは、Microsoft Teams である。
- (4) 通信環境が整わない現場や遠隔確認が非効率となる場合も想定されることから、受発注者の協議により遠隔確認の適用・不適用を決定するものとする。

第 16 章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは設計図書等に示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- 1) 設計諸元等条件変更に係るもの
- 2) 関連工事との調整に係るもの
- 3) 不可抗力によるもの
- 4) 法・基準の改正に係るもの
- 5) 他排水門ゲート設備改修に係るもの
- 6) その他本仕様書に定めないもの

第 17 章 その他

1. 電子納品

工事完成図書を共通仕様書(施) 第1章1-1-27及び第1章1-1-29に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・ 工事完成図書の電子媒体 (CD-R、DVD-R 又は BD-R) 正副 2 部
- ・ 工事完成図書の出力 1 部 (電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)

2. 配置予定監理技術者の専任期間

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。

また、現場への専任期間については、契約工期が基本となるが、契約工期内であっても、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く）事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

更に、工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間については、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の監理技術者等がこれらの製作を一括管理することができる。

3. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労務者の確保などが図れる余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間に別紙様式 1 により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事の積算上の工期としている 130 日間よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに別紙様式 1 と併せて、休日を確保していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書及び工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。

また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結の日から令和8年3月13日（工事完了期限日）まで

※工事完了期限内における工期の変更については、受注者から変更理由が記載された書面での協議を行うこと。

4. CORINS への登録

技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕期間は含まないことに留意すること。

5. 契約後V E提案

（1）定 義

「V E提案」とは、工事請負契約書第19条の2の規定に基づき、契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。

（2）V E提案の意義及び範囲

1）V E提案の範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。

2）ただし、次の提案は、V E提案の範囲に含めないものとする。

①施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案

②工事請負契約書第18条（条件変更等）に基づき条件変更が確認された後の提案

③競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更の提案

（3）V E提案書の提出

1）受注者は、（2）のV E提案を行う場合、次に掲げる事項をV E提案書（共通仕様書（施）工事関係書類様式（様式・6）の様式1～様式4）に記載し、発注者に提出しなければならない。

①設計図書に定める内容とV E提案の内容の対比及び提案理由

②V E提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）

③V E提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠

④発注者が別途発注する関連工事との関係

⑤工業所有権を含むV E提案である場合、その取り扱いに関する事項

⑥その他V E提案が採用された場合に留意すべき事項

2）発注者は、提出されたV E提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。

3）受注者は、V E提案を契約締結の日より、当該V E提案に係る部分の施工に着手する日の35日前までに、発注者に提出できるものとする。

4）V E提案の提出費用は、受注者の負担とする。

（4）V E提案の適否等

1）発注者は、V E提案の採否について、原則として、V E提案を受領した日の翌日から14日以内に書面（共通仕様書（施）工事関係書類様式（様式・6）の様式5）により通知するものとする。ただし、その期間内に通知できないやむを得ない理由があるときは、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。

2）また、V E提案が適正と認められなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

3）V E提案の審査に当たっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性を評価

する。

4) 発注者は、V E 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 19 条の 2 (設計図書の変更に係る受注者の提案) の規定に基づくものとする。

5) 発注者は、V E 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 25 条 (請負代金額の変更方法等) の規定により請負代金額の変更を行うものとする。

6) 前項の変更を行う場合においては、V E 提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の 10 分の 5 に相当する額 (以下「V E 管理費」という。) を削減しないものとする。

7) V E 提案を採用した後、工事請負契約書第 18 条 (条件変更等) の条件変更が生じた場合において、発注者が V E 提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。

8) 発注者は、工事請負契約書第 18 条 (条件変更等) の条件変更が生じた場合には、工事請負契約書第 25 条 (請負代金額の変更方法等) 第 1 項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。V E 提案を採用した後、工事請負契約書第 18 条 (条件変更等) の条件変更が生じた場合の前記 6) の V E 管理費については、変更しないものとする。

ただし、双方の責に帰することができない理由 (不可抗力、予測不可能な事由等) により、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者が協議して定めるものとする。

(5) V E 提案書の使用

発注者は、V E 提案を採用した場合、工業所有権が設定されたものを除き、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、当該工事以外の工事においてその内容が無償で使用する権利を有するものとする。

(6) 責任の所在

発注者が V E 提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、V E 提案を行った受注者の責任が否定されるものではないこととする。

6. 工事の施工効率向上対策

受発注者間の現場条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、現場代理人等の受注者代表は、次の事項並びに「工事の施工効率向上対策」(農水省 WEB サイト) を十分に理解の上、対応するものとする。

(1) 工事円滑化会議 (施工条件確認会議)

工事契約後に、円滑な工事着手が図れるよう事業(務)所長、次長、主任監督員 (主催) 及び監督員が、現場代理人、受注会社幹部に設計の考え方等を説明し、共有を図るものとする。

なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

(2) 工事円滑化会議 (工程確認会議)

工事着手時および新工種発生時等において、現場代理人・受注会社幹部並びに事業(務)所長、次長、主任監督員 (主催)、監督員が、施工計画、工事工程等について、確認し、円滑な工事の実施を図る工事円滑化会議を開催するものとする。

なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

(3) 設計変更確認会議

工事完成前に、設計変更手続や工事検査が円滑に行われるよう、現場代理人・受注会社幹部並びに事務(業)所長、(次長)、主任監督員(主催)、監督員が工期、設計変更内容、技術提案の履行状況等について、高いレベルで確認する設計変更確認会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員と協議し定めるものとする。

(4) 対策検討会議

工事実施中において、自然的又は人為的な要因等により、工事の工期、設計及び施工等に大きな影響をもたらす重大な事象が発生した際に、調査設計段階の検討内容を含めた技術課題等の迅速な解決に向けて、現場代理人・受注会社幹部並びに各地方農政局地方参事官 (議長)・関係課職員、事業(務)所長、次長、主任監督員、監督員が対応方針の協議・確認を行う対策会議を開催することができるものとする。

なお、対策検討会議は、現場代理人又は監督職員が工事円滑化会議等において協議の上開催

する。

- (5) 工事円滑化会議、設計変更確認会議及び対策検討会議において確認した事項については、打合せ記録簿（共通仕様書（施）工事関係書類様式（様式-42））に記録し、相互に確認するものとする。

7. 工事付属品

本工事で製作据付した設備の維持管理及び運転操作に必要な図書等は、工事付属品として監督職員の指示する場所に1部を備え付けなければならない。

8. 現場環境の改善の試行

本工事は、誰でも働きやすい現場環境（快適トイレ）の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

(1) 内容

受注者は、現場に以下のア～サの仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

ただし、シ～チについては、満たしていればより快適に使用できるものと思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- ア 洋式（洋風）便器
- イ 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- ウ 臭い逆流防止機能
- エ 容易に開かない施錠機能
- オ 照明設備
- カ 衣類掛け等のフック又は荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする）

【付属品として備えるもの】

- キ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ク 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- ケ サニタリーボックス
- コ 鏡と手洗器
- サ 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- シ 便房内寸法 900×900mm 以上（面積ではない）
- ス 擬音装置（機能を含む）
- セ 着替え台
- ソ 臭気対策機能の多重化
- タ 室内温度の調整が可能な設備
- チ 小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

(2) 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記（1）の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格、基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】ア～カ及び【付属品として備えるもの】キ～チの費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円／基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更の上限は、男女別で各1基ずつ2基／工事までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2基／工事より多く設置する場合や積算上限を超える費用については、別途計上は行わない。

(3) 快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本項の対象外とする。

9. 週休2日による施工

- (1) 本工事は、月単位の週休2日に取り組むことを前提として、労務費、共通仮設費（率分）及

び現場管理費（率分）を補正した試行対象工事である。受注者は、契約後、週単位又は月単位の週休2日の取組について工事着手前に選択し、選択結果について発注者と協議した上、週休2日による施工を行わなければならない。なお、受注者の責によらない現場条件、気象条件等により週休2日相当の確保が難しいことが想定される場合には監督職員と協議するものとする。

- (2) 週単位の週休2日とは、対象期間のすべての週において、1週間に2日間以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。なお、受注者自ら2日以上現場閉所を行うことは可能とする。月単位の週休2日とは、対象期間において、すべての月で4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

なお、ここでいう対象期間、現場閉所等の具体的な内容は次のとおりである。

- 1) 対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として12月29日から1月3日までの6日間、8月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。
 - 2) 現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検、巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。
 - 3) 降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。
- (3) 週休2日（4週8休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。
- 1) 受注者は、契約後、週単位又は月単位の週休2日の取組について工事着手前に選択し、週休2日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。
 - 2) 受注者は、週休2日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。なお、週休2日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等により行うものとする。
 - 3) 監督職員は、上記受注者からの報告により週休2日の実施状況を確認するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り等を行う。
 - 4) 監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合や、実施状況が確認できない場合などがあれば、受注者から上記2)の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。
 - 5) 報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。
- (4) 監督職員が週休2日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (5) 発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じて以下に示す補正係数により、労務費、共通仮設費（率分）及び現場管理費（率分）を補正する。

1) 現場の閉所状況

	週単位の週休2日	月単位の週休2日
現場閉所率	1週間に2日以上	28.5%（8日／28日）以上
労務費	1.02	1.02
共通仮設費（率分）	1.05	1.04
現場管理費（率分）	1.06	1.05

2) 補正方法

当初積算において月単位の週休2日の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。なお、発注者は、工事完成時に現場閉所の達成状況を確認後、達成状況に応じて、工事請負契約書第25条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき精算変更を行う。週単位の週休2日を達成した場合は、上記1)に示す週単位の補正係数による補正を行い増額変更し、月単位の週休2日を達成できない場合は、補正を行わずに減額変更する。また、提出された工程表が週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、契約違反として「地方農政局

工事成績等評定実施要領（模範例）の制定について」（平成 15 年 2 月 19 日付け 14 地第 759 号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。）別紙 8（事業（務）所長用）に示す「7. 法令遵守等」において、点数 10 点を減ずるものとする。

10. 総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）について

- （1）本工事は、請負代金額の変更があった場合における変更金額や部分払い金額の算定を行う際に用いる単価等をあらかじめ協議し、合意しておくことにより、設計変更や部分払に伴う協議の円滑化に資することを目的として実施する総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）の対象工事である。
- （2）受発注者間で作成の上合意した単価合意書は、公表するものとする。

11. 令和 6 年 9 月 20 日からの大雨の被災地域における被災農林漁家の就労機会の確保について

- （1）受注者は工事の施工に当たっては、効率的な施工に配慮しつつ、被災地域における被災農林漁家の就労希望者を優先的に雇用するよう努めるものとする。
なお、被災地域における被災農林漁家を雇用した場合は、月毎の被災農林漁家の雇用実績人数を提出すること。
- （2）発注者は、被災農林漁家の雇用実績を確認した場合は、工事成績評定別紙 7 に示す「6. 社会性等」に、次の評価項目を追加したうえで最大 7.5 点を加点点評価する。
ただし、工事成績評定の合計は 100 点を超えないものとする。

○事業（務）所長用

【被災農林漁家の就労機会の確保】

- ☐令和 6 年 9 月 20 日からの大雨の被災地域における被災農林漁家を雇用した。
- ☐令和 6 年 9 月 20 日からの大雨の被災地域における被災農林漁家を複数名又は長期に渡って雇用した。
- ☐令和 6 年 9 月 20 日からの大雨の被災地域における被災農林漁家を複数名、長期に渡って雇用した。

第 18 章 定めなき事項

- 1. 契約書、設計図面及び本仕様書に示されていない事項であっても構造、機能上又は製作据付上当然必要と認められる軽微な事項については受注者の負担で処理するものとする。
- 2. この仕様書に定めない事項又はこの工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

(別記様式－1)

工 期 通 知 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

分任支出負担行為担当官
〇〇〇〇事業所長
〇〇 〇〇 様

住 所 〇〇県〇〇市〇〇〇〇
商号又は名称 (株)〇〇〇〇
氏 名 〇〇 〇〇 印

次のとおり工期を定めたので通知します。

工 事 名	令和〇年度〇〇〇〇事業 〇〇〇〇工事
工 事 場 所	〇〇県〇〇市〇〇町地内
契約予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
工 事 の 始 期	令和〇〇年〇〇月〇〇日
工 期	工 事 の 始 期から (〇〇〇日間) 令和〇〇年〇〇月〇〇日まで

※契約の締結までに提出すること。

※契約書には本通知書により通知した工期（工事の始期及び終期）を記載する。

令和7年度

土地改良施設突発事故復旧事業

諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事

工 事 数 量 表
【当初】

九州農政局

北部九州土地改良調査管理事務所

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
直接製作費				
1. 水門扉製作工				
(1)開閉装置工				
開閉装置(機器単体費・ワイロープ 式)	ワイロープ φ 53×564m	式	1. 000	
直接工事費				
1. 輸送費				
(1)輸送費				
輸送費 (河川用水門)		式	1. 000	
2. 水門扉据付工				
(1)水門扉据付工				
ワイヤロープ取替工		式	1. 000	
開閉ドラム切離し復旧工		式	1. 000	
直接経費		式	1. 000	
仮設工		式	1. 000	
通行規制		式	1. 000	
試運転調整工 (水中部確認)		式	1. 000	

令和7年度 土地改良施設突発事故復旧事業
諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事

目 録

【契約図】

図面番号	図 面 名 称	枚数	摘要
1	位置図	1	
2	計画一般平面図	1	
3	北部排水門ゲート一般図	1	
4	開閉装置組立図	1	
5	ロープ端末装置組立及び詳細図	1	
6	予備ゲート設置図	1	
合 計		6	

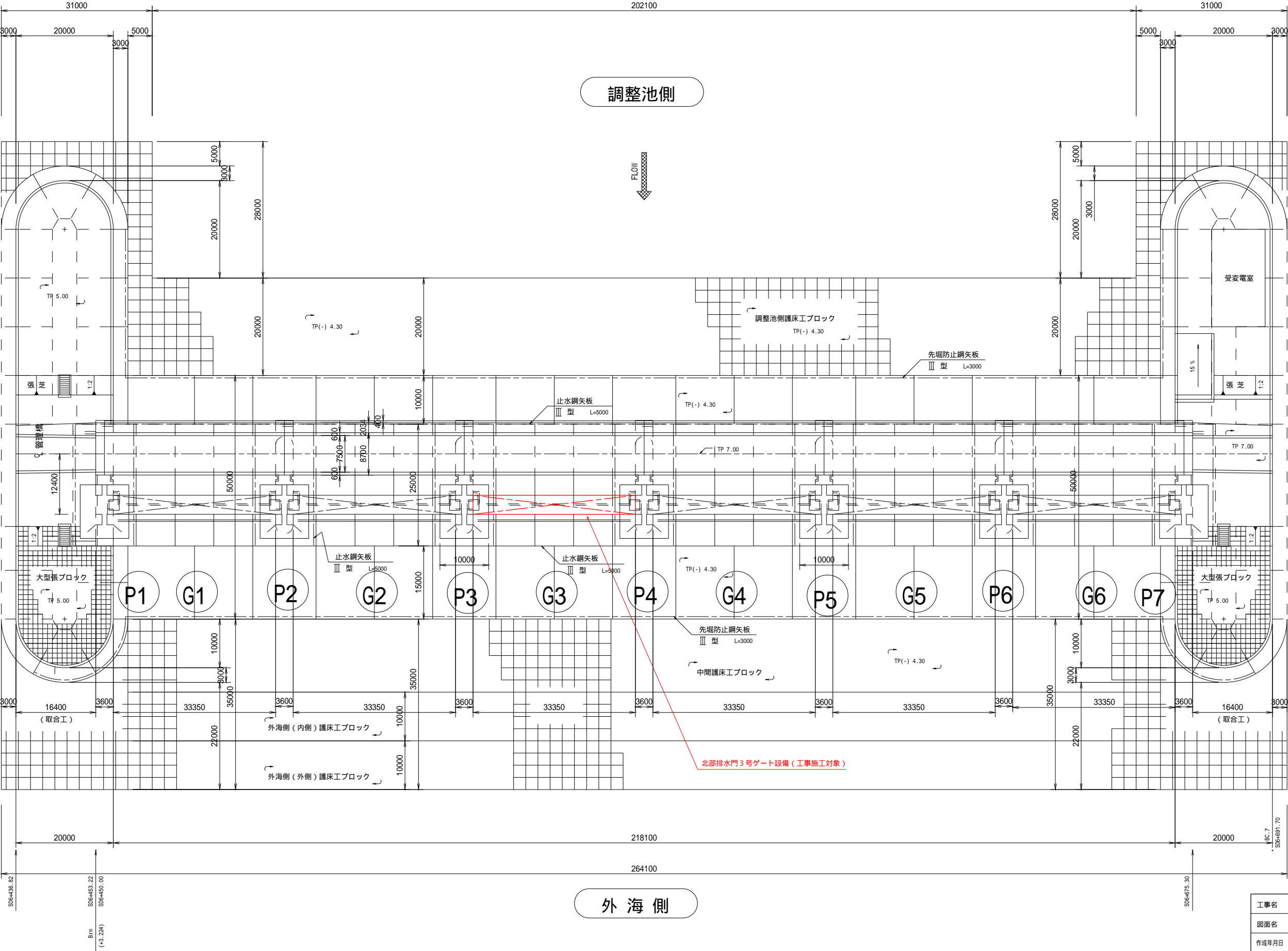


位置図

施工場所（北部排水門）

工事名	令和7年度 土地改良施設突発事故復旧事業 熊早地区北部排水門ワイヤロープ取替工事		
図面名	位置図		
作成年月日			
尺 寸		図面番号	1
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

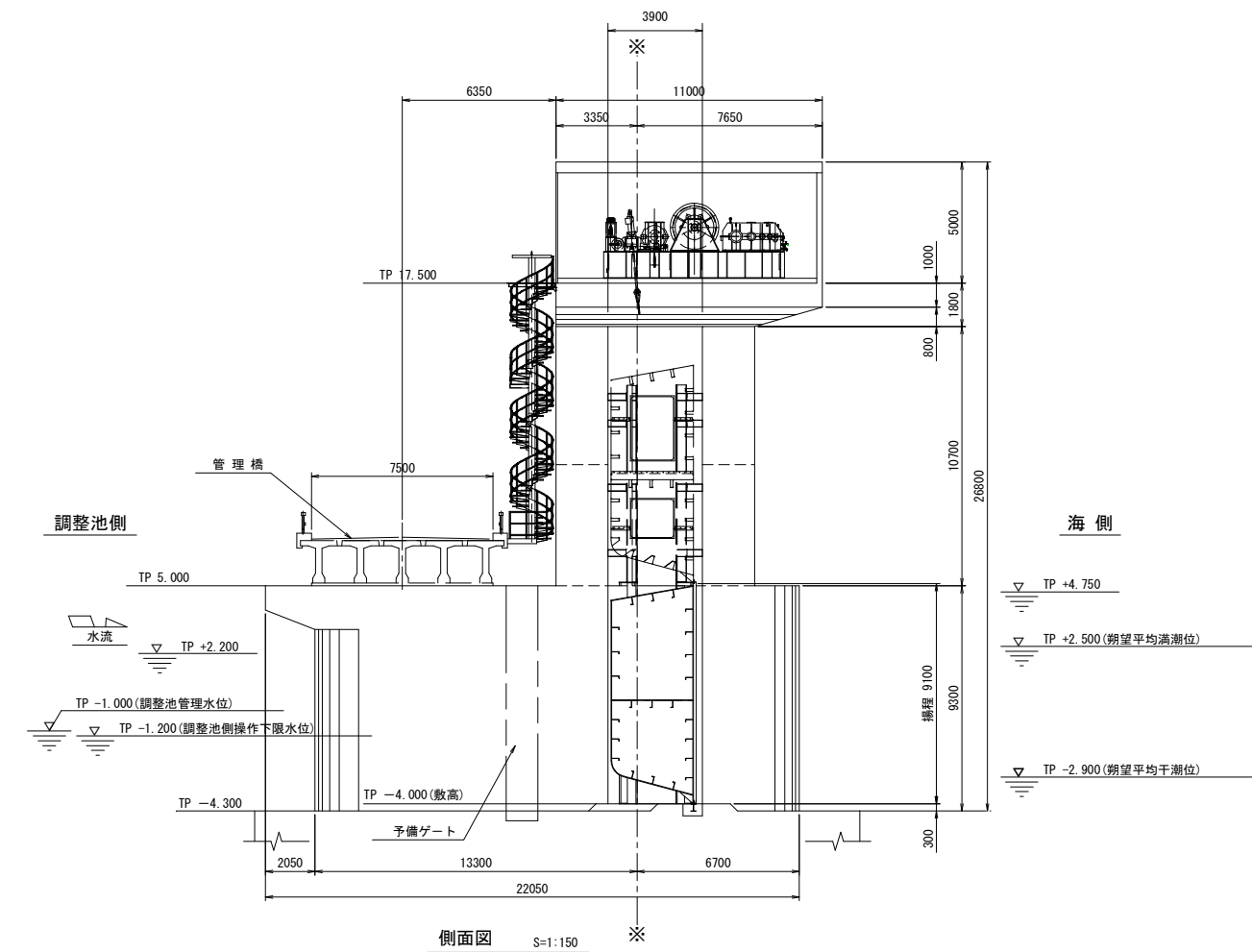
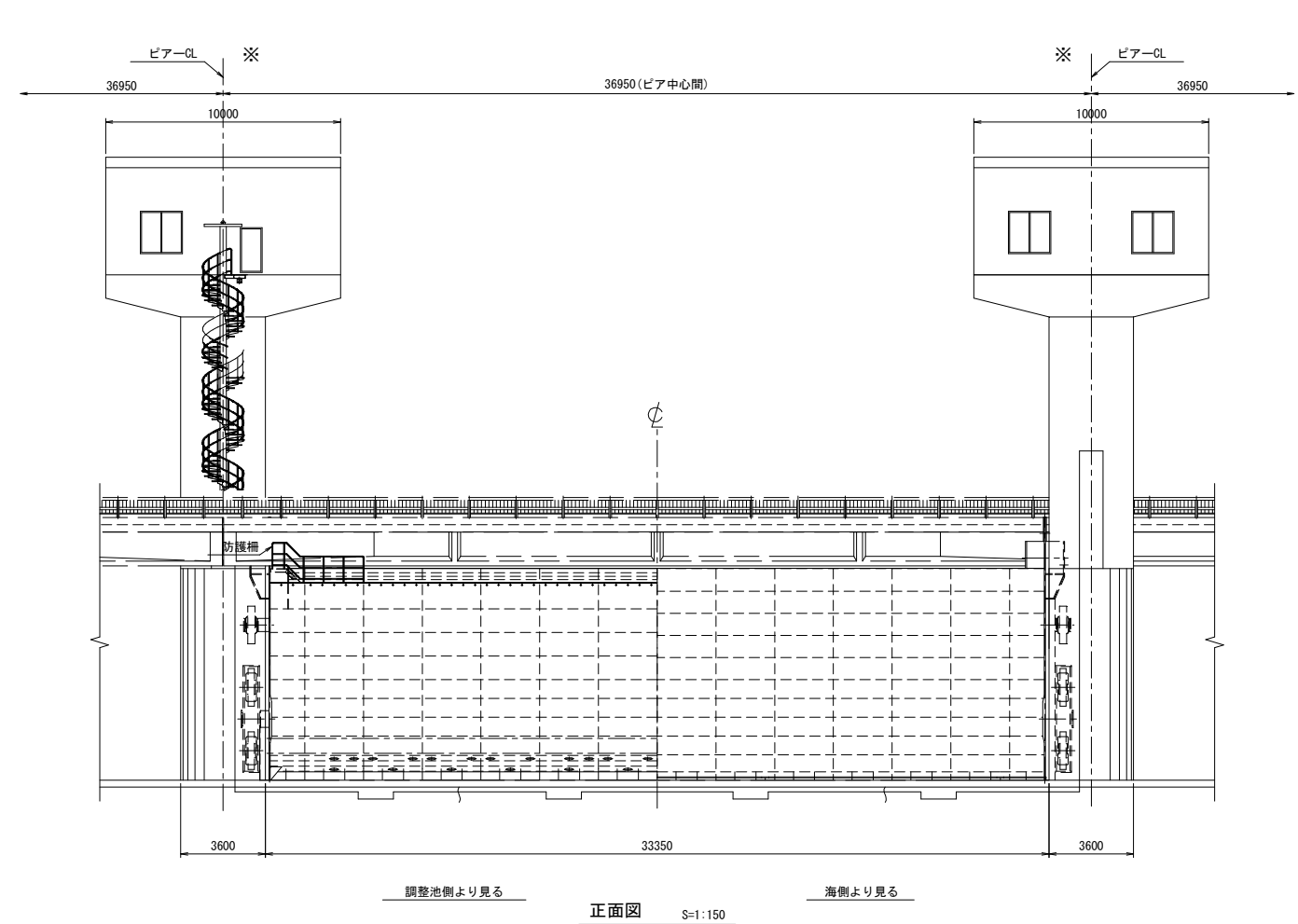
計画一般平面図



注記
施工対象以外は指定ではない。

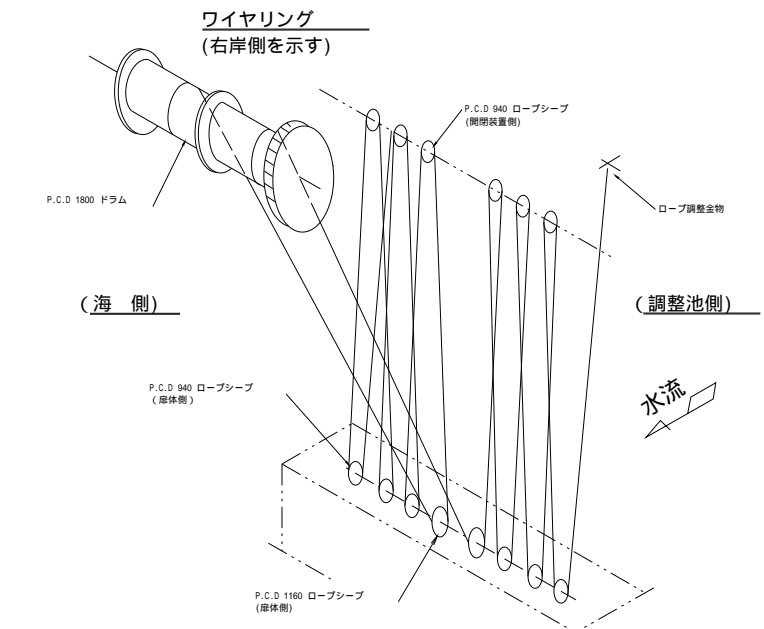
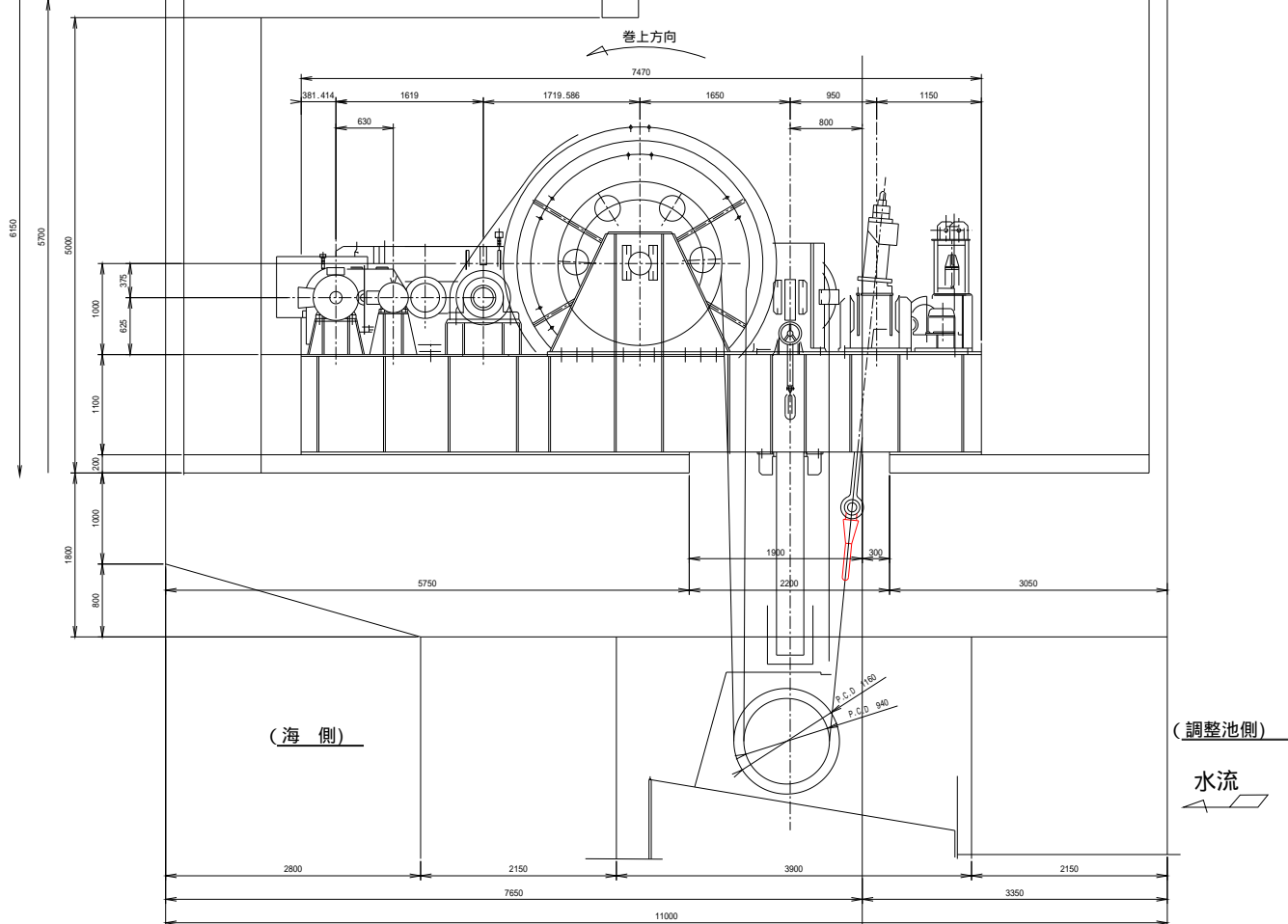
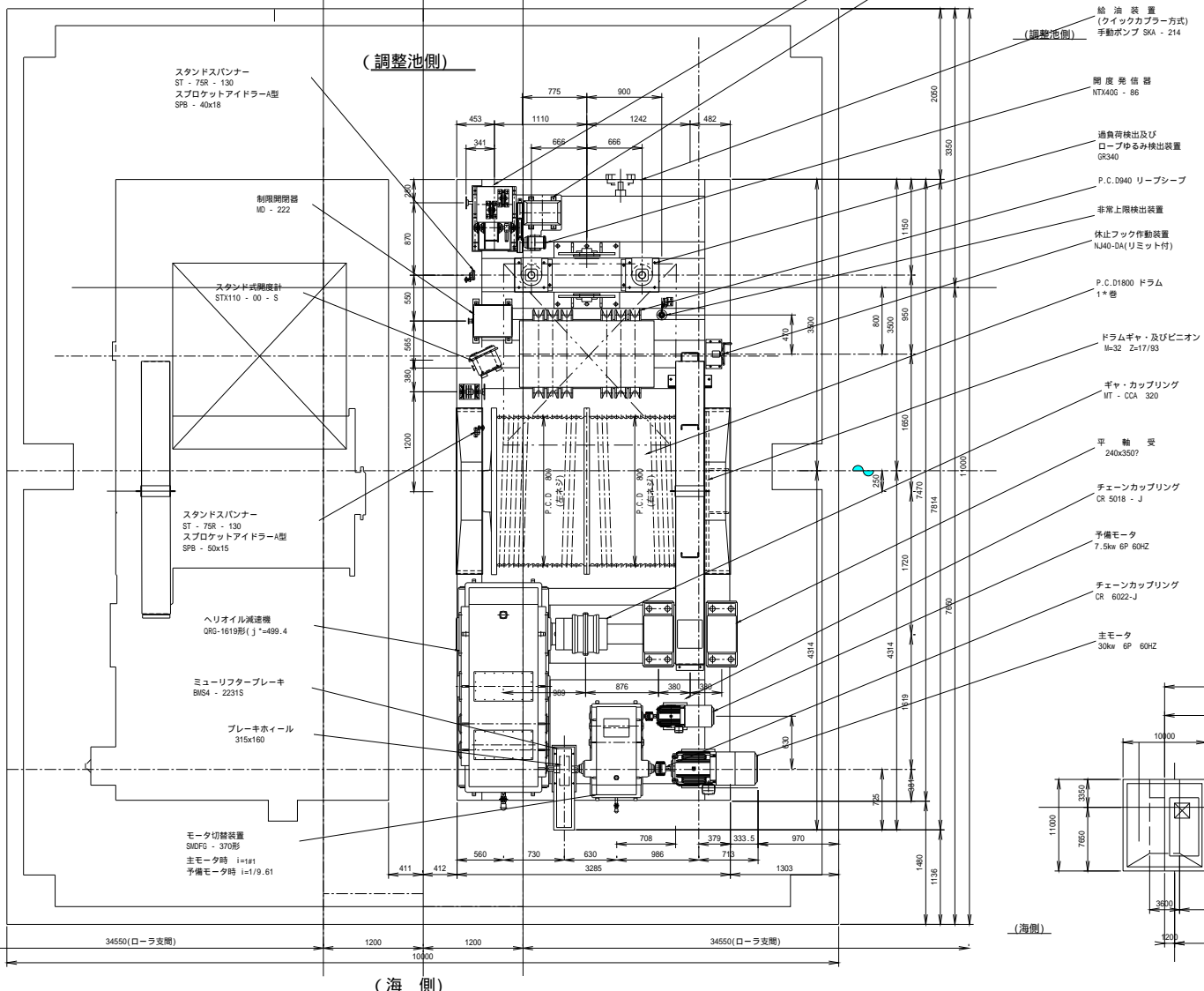
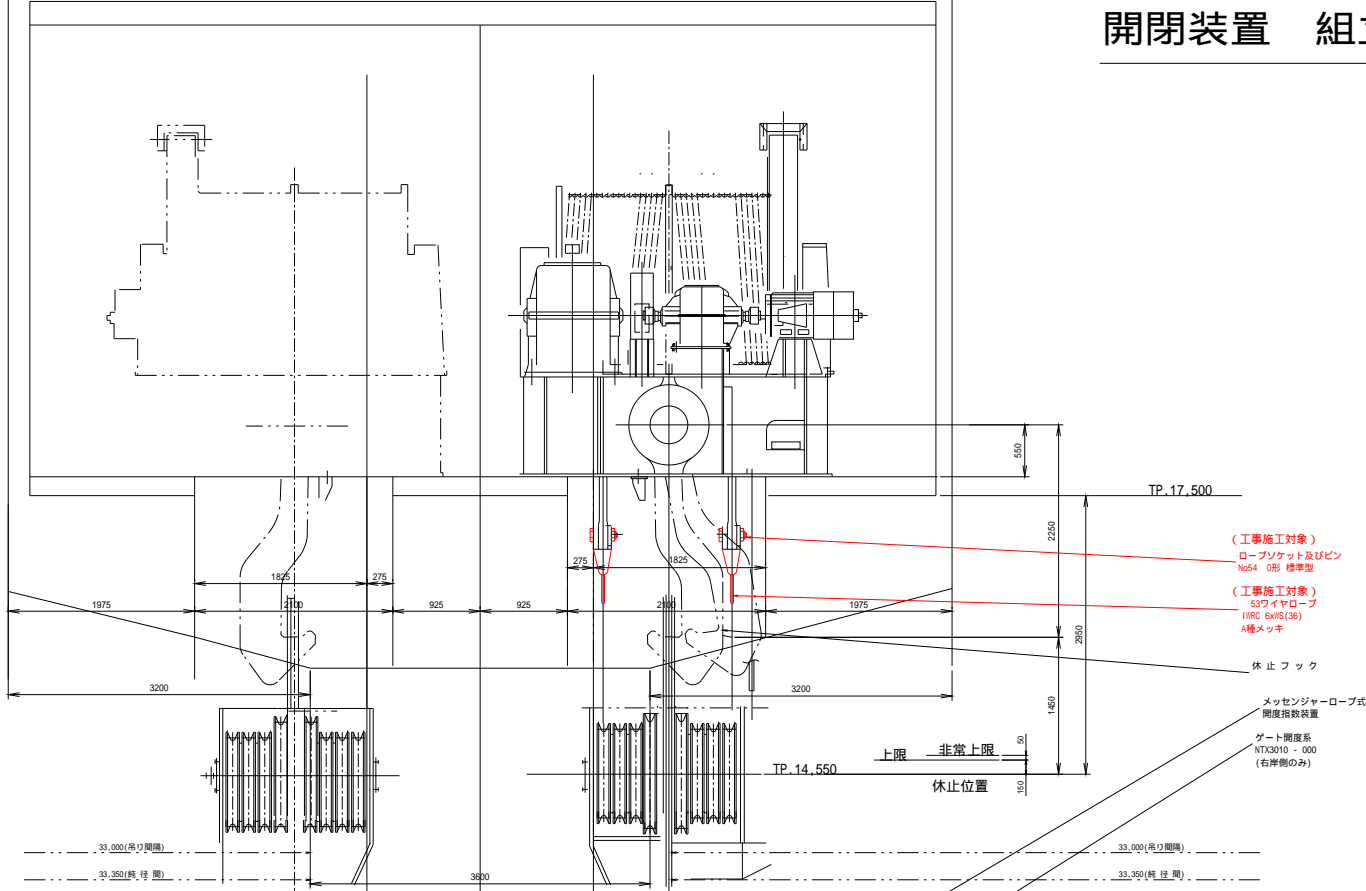
工事名	令和7年度 土地改良施設突発事故復旧事業 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事		
図面名	計画一般平面図		
作成年月日			
縮尺	S=1:400	図面番号	2
会社名			
事業(務)所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

北部排水門ゲート一般図

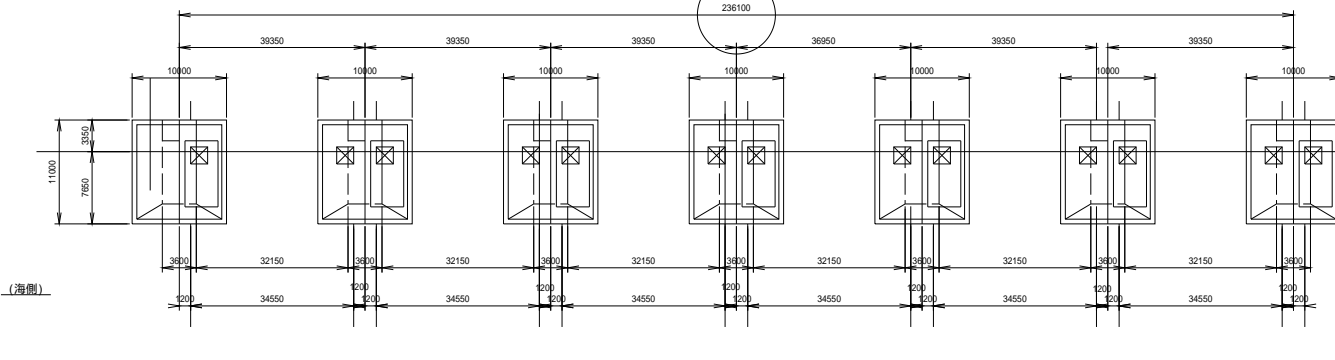


工事名	令和7年度 土地改良施設突発事故復旧事業 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事		
図面名	北部排水門ゲート一般図		
作成年月日			
縮尺	S=1:150	図面番号	3
会社名			
事業(部)所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

開閉装置 組立図



KEY PLAN (調整池側)



設計仕様	
形式	2電動機2ドラムワイヤロープ巻取式
開閉荷重	500 tonf
開閉速度	主モータ時 0.3m/min 予備モータ時 0.065m/min
揚程	9.1m(休止時) 9.3m/min(非常上限*)
電動機	主モータ時 30kw 6p 60HZ **定格 予備モータ時 7.5kw 6p 60HZ **定格
操作方式	機側及び遠方操作
ワイヤロープ	53 IWRC 6x11S(30) A種メッキ
電源	440V 60HZ
設置数	6 門

開閉速度

(主モータ時)

$$V1 = 1170 \times \frac{1}{497.4} \times \frac{17}{93} \times \frac{1.8}{8} = 0.303 \text{ m/min}$$

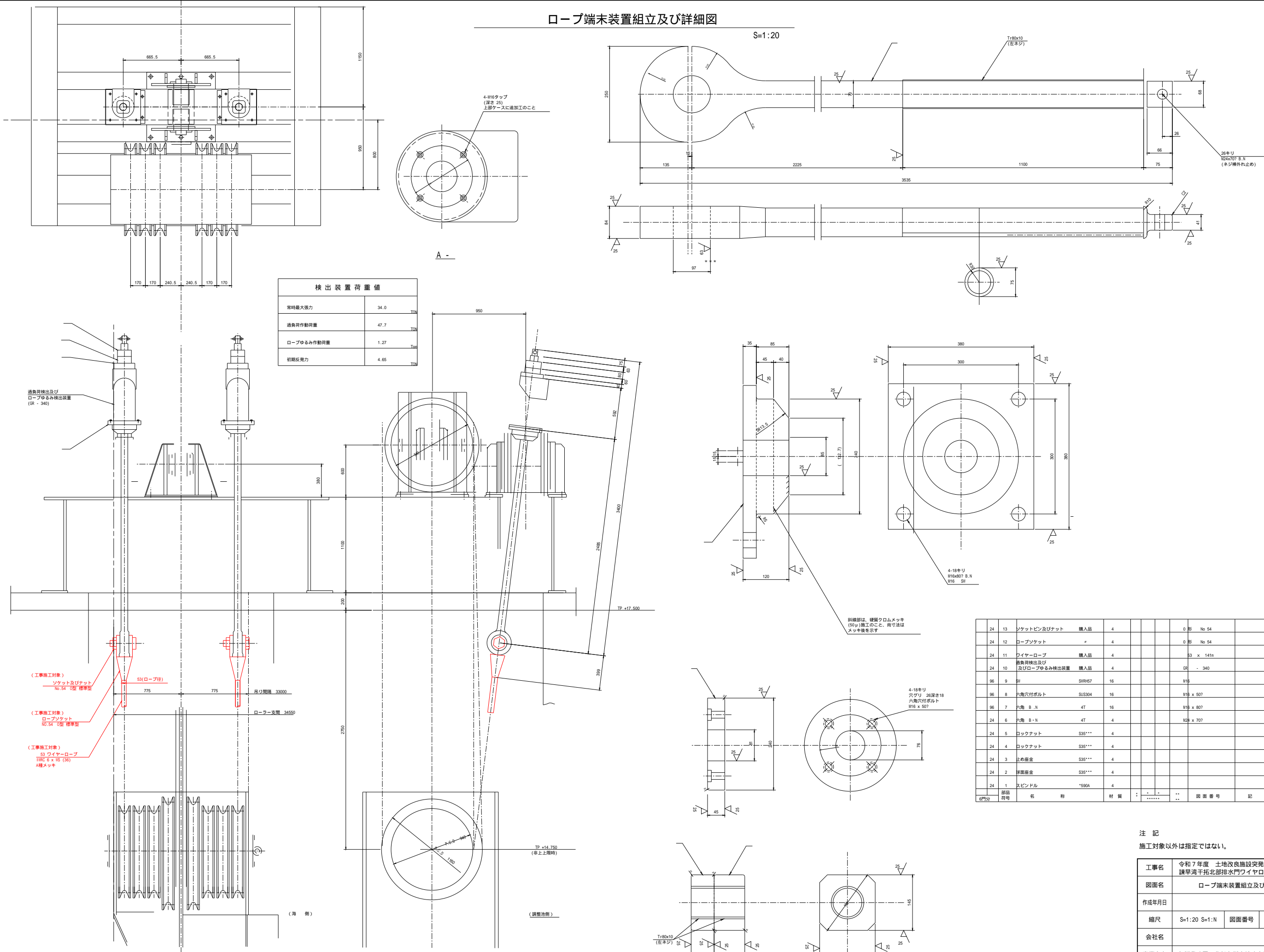
(予備モータ時)

$$V2 = 1160 \times \frac{1}{4.61} \times \frac{1}{499.4} \times \frac{17}{93} \times \frac{1.8}{8} = 0.065 \text{ m/min}$$

注記
施工対象以外は指定ではない。

工事名	令和7年度 土地改良施設突発事故復旧事業 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事		
図面名	開閉装置 組立図		
作成年月日			
縮尺	S=1:40	図面番号	4
会社名			
事業者名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

ロープ端末装置組立及び詳細図



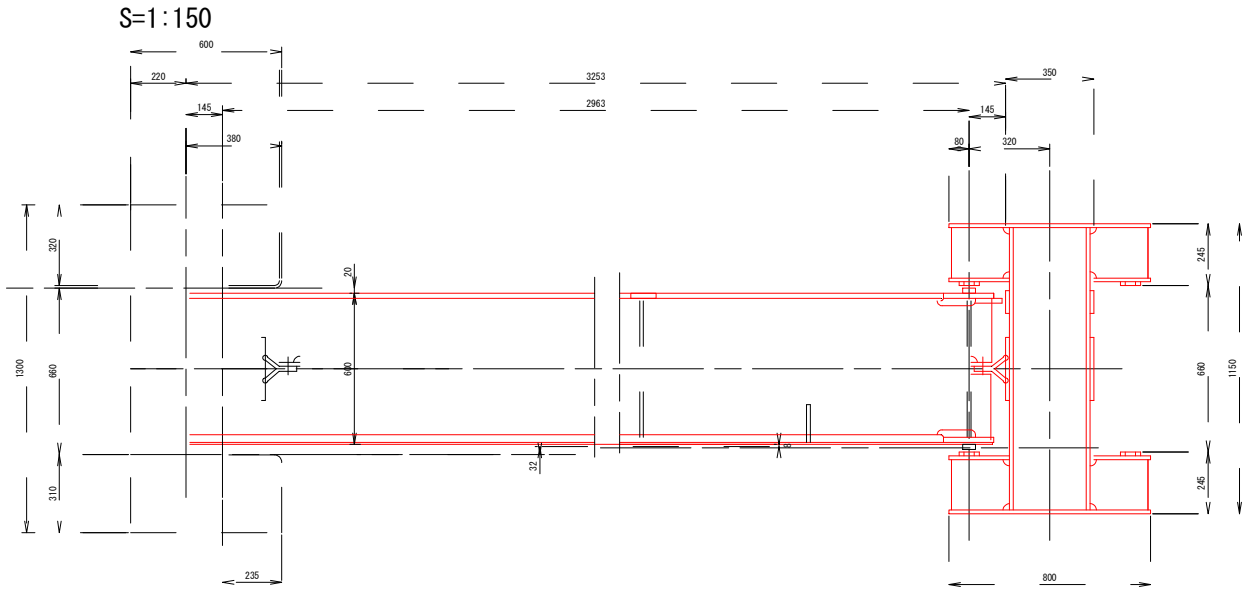
注 記

施工対象以外は指定ではない。

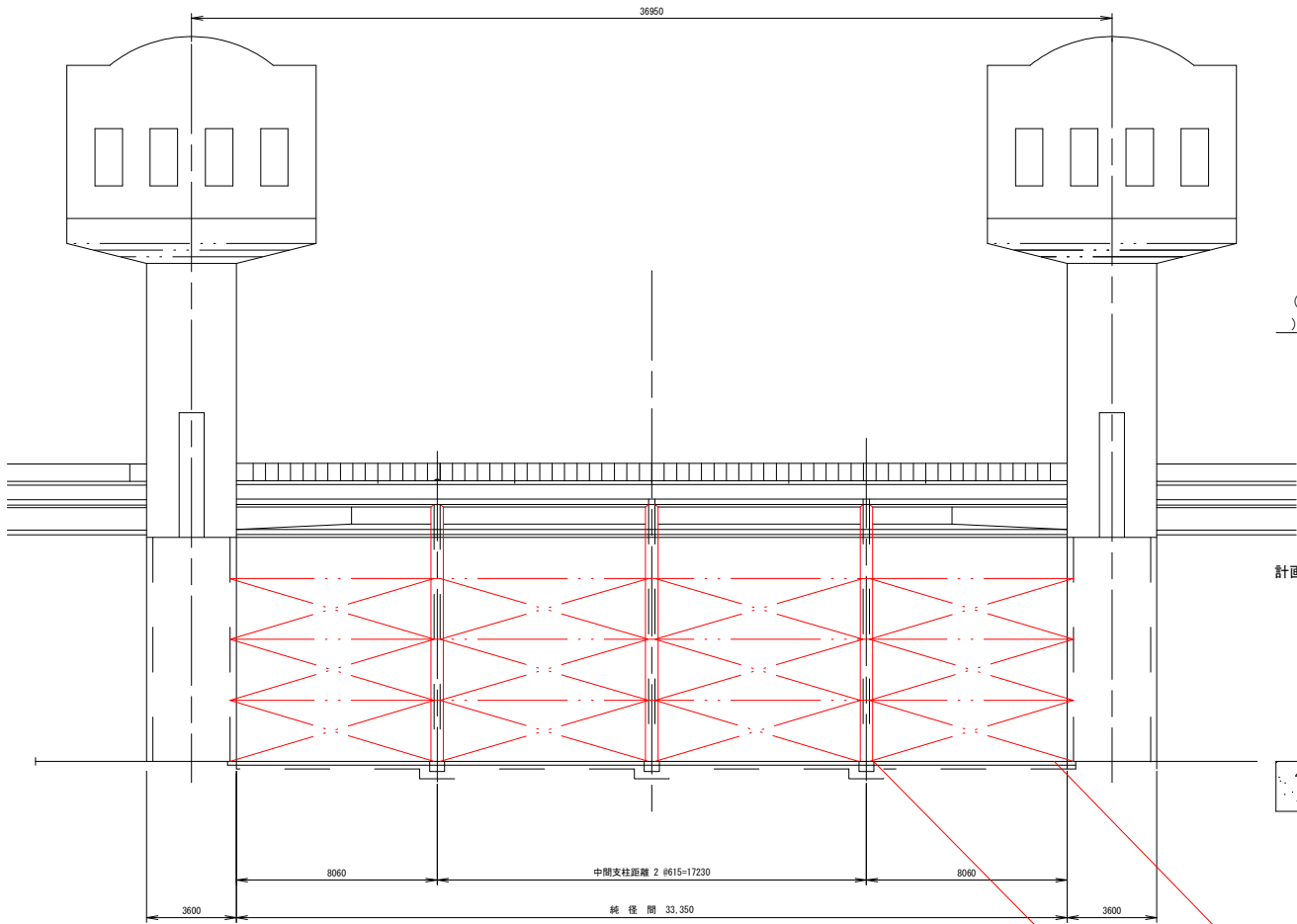
工事名	令和7年度 土地改良施設突発事故復旧事業 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事		
図面名	ロープ端末装置組立及び詳細図		
作成年月日			
縮尺	S=1:20 S=1:N	図面番号	5
会社名			
事業者名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

予備ゲート設置図

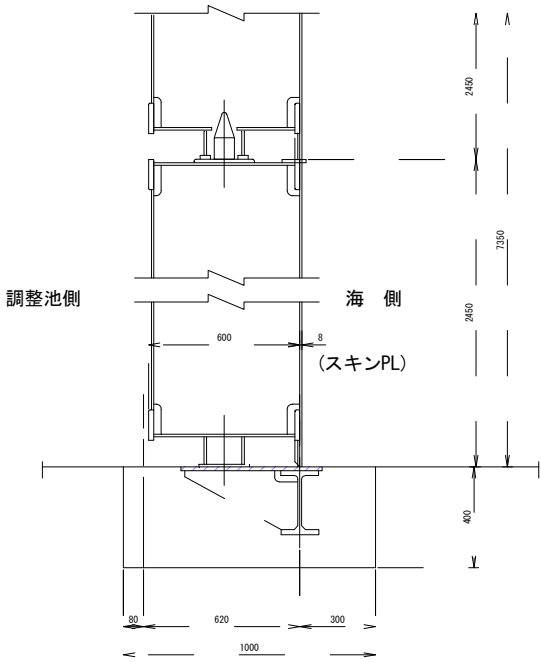
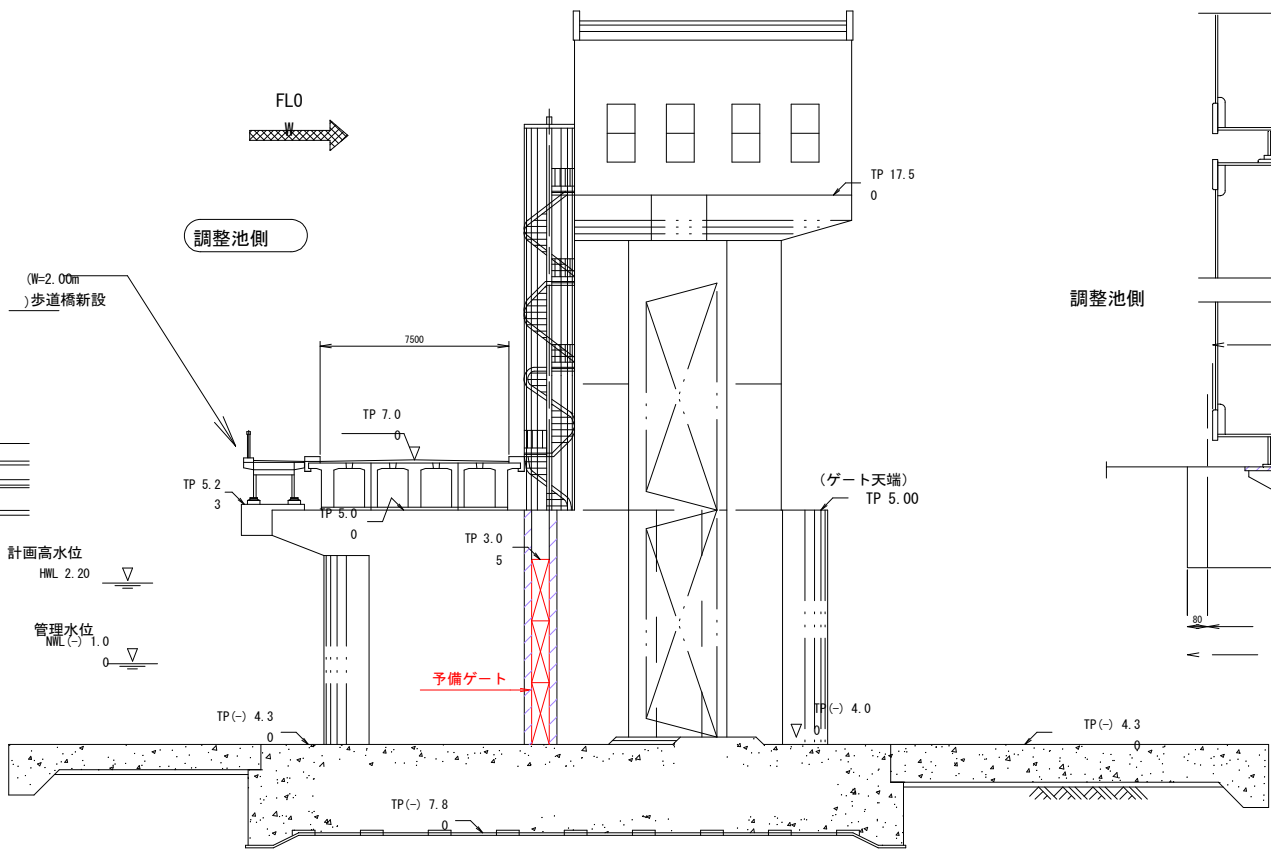
詳細図



正面図



側面図



予備ゲート : W 7.975m × H 2.45m/枚 × 12枚

支柱 : H 11.475m × 3本

予備ゲート及び支柱については既設利用。

工 事 名	令和7年度 土地改良施設突発事故復旧事業 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事		
図 面 名	予備ゲート設置図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:150	図面番号	6
会 社 名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

令和7年度 土地改良施設突発事故復旧事業
諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事

目 録

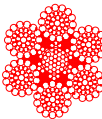
【参考図】

図面番号	図 面 名 称	枚数	摘要
参1	ワイヤロープ及びソケット詳細図	1	
合 計		1	

ワイヤロープ及びソケット詳細図

ワイヤロープ仕様

I W R C 6 × W S (3 6) G / O 5 3 m m A 種 1 4 1 m × 4 本
(片端O型ソケット
他端シージング)



xsm1.5;3. 品 質

s*; 3.1 ワイヤロープ

sm1.5; ワイヤロープの品質は、表1の通りとする。

3.2 索 線

索線の品質は、表2の通りとする。

sm1;

sm1.5;4. 塗 油

s*; 赤ロープグリスを均一かつ十分に塗布する。

sm1.5;

5. 線 材

索線は、J I S G 3 5 0 6 (硬鋼線材) に規定する S W R H 6 2 ~ 8 2 の線材を使用する。

s*;

sm1.5;6. 試験および検査

試験および検査は、J I S G 3 5 2 5 (ワイヤロープ) に準じて行う。

(1) ロープ試験 : ロープ径、破断荷重、外観

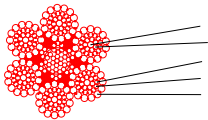
(2) 索 線 試 験 : 索線径、破断荷重、ねじり回数、巻解、亜鉛付着量

表1 ワイヤロープの品質

構 成 記 号	I W R C 6 × W S (3 6)
直 径	+3.7 5 3 mm -0
よ り 方	普通・Zより
メッキの有無	有 (亜鉛めっき)
よりの長さ	3 2 0 mm (標準)
破 断 荷 重	1 7 8 5 k N (1 8 2 t f) 以上
単 位 質 量	1 2 . 4 k g / m (参考)
断 面 積	1 4 3 0 mm ² (標準)

表2 索 線 の 品 質

記 号	本 数	索線径 mm	破断荷重のばらつき kgf	ねじり回数 回	巻解性 1d±8	亜鉛付着量 g / m ²
0	6	3.50	—	—	—	—
1	42	2.51	平均値 ±8%	26	良	125
2S	42	1.88	#	27	#	110
2B	42	2.44	#	26	#	#
3	84	3.07	#	25	#	125



I W R C 6 X W S (3 6) G / O

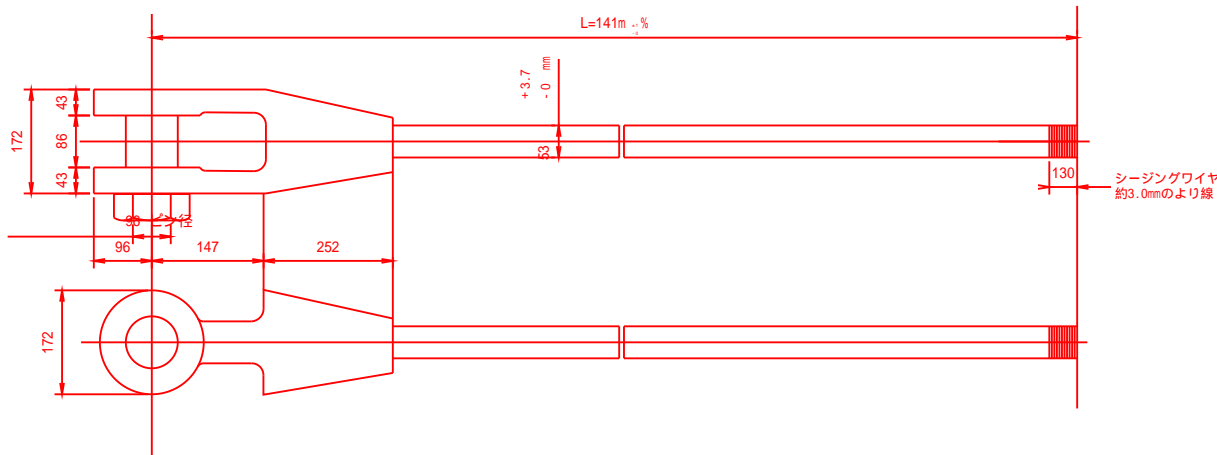
xsm1.5; 7. プレテンション加工

ワイヤロープは、プレテンション加工を施すものとし、その条件を下表に示す。なお、プレテンション荷重は、破断荷重の40%とする。

ロープ径	プレテンション荷重	保 持 時 間	回 数
5 3 m m	7 2 . 8 ton	3 0 分	3 回

xsm1.5; 8. 加 工

ロープの片端はO型ソケット加工を施すものとする。
O型ソケットは、貴社指定のO型ソケット標準形、適用ロープ径 5 4 を使用するものとし、ソケット各部品には、溶融亜鉛メッキ (5 5 0 g / m²以上) を行うこととする。



凡例

— □ : 施工対象

工事名	令和7年度 土地改良施設突発事故復旧事業 諫早湾干拓北部排水門ワイヤロープ取替工事		
図面名	ワイヤロープ及びソケット詳細図		
作成年月日			
縮尺	S=1:100	図面番号	参 1
会社名			
事業者名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		